

令和元年度 第1回 旭区区政会議（各部会）における「追加意見」への対応方針

※分類

- ①対応済み
- ②令和元年度運営方針に反映または令和元年度中に対応予定
- ③令和元年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	委員名	意見	対応方針	分類
●旭区運営方針について				
1	亀井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的取組1-2-①（中学生の基礎学力定着支援）について、30年度区内4中学で成果があったとの実績報告が発表されているが、参加生徒数が不明である。せめて総参加者数だけでも実績発表しないと実態がわからない。 ・具体的取組1-2-②（小学生の学力向上支援）について、上記①に同じ ・具体的取組1-2-③（小学生の体力・運動能力向上支援）について、目標設定6校は低いのではないか。（R1.7.29 活力・安全部会にかかる追加意見等） 	企画総務課（企画調整） <ul style="list-style-type: none"> ・①②については、小・中学校とも、各校の状況に応じ、取組の内容、参加対象、人数等を決めていることから、学校の実情に応じた取組として有効か否かを判断することが適切と考えておりますが、参加者数についても補足的な資料として活用していくことなどを、今後検討してまいります。 ・③については、今年度新規の取組であることから60%と設定いたしました。今後とも適切な指標の設定に努めてまいります。 	③
		<ul style="list-style-type: none"> 具体的取組4-1-②（地域防災の底上げ）について <ul style="list-style-type: none"> ・避難ビルの指定は前年で終了したのか。 ・空き家対策について、29年度は25件中11件解決した。30年11月号の「広報あさひ」を見て欲しいとの回答を得た。地域への調査依頼は29年度以降なかった。30年度の地震・台風の被害もあり、空き家数は増加しているのではないか。 ・30年度の実態と解決の件数も開示してほしい。今後の取組方法についても発表してほしい。（R1.7.29 活力・安全部会にかかる追加意見等） 	市民協働課（防災安全） <ul style="list-style-type: none"> ・水害時避難ビルの指定につきましては、継続して行っております。 ・空き家対策業務が平成28年度に局から区へ移管され、その際に連合振興町会あて実態調査を実施し、その後は通報の受付により実態把握をしております。 ・平成30年度の空き家通報件数は55件、処理件数は13件となっております。今後は、外部専門家の意見も聞きながら処理件数を増やし、また、セミナーなどの事業により空き家が増加しないような取組を行ってまいります。 	②

●その他いただいたご意見について

番号	委員名	意見
1	水戸岡委員	旭区のビジョン（大変すばらしい）に向けて、区民のどれだけの人たちが心を向け、行って夢が叶えられてきたか。統計を取って何%だから、思い通りに進んでいると思うのは如何なものか。便利の良いインターネットで答えてくださる方々は、ほんの一部の方。区民の声をもっと多く聞く方法、それに答えていってこそ、夢も少しずつ叶えられるのではないか。決められた方針に右習いをするだけではなく、出席者が事前に町会内の声を聞き、まとめて会議に発表、それに沿っての行動へ向けて指示が望まれる。取り残されている方々が身の回りにたくさんいらっしゃる。夢だけで決まりきった書面上の取組では、多くの区民は喜べない。水に描いた絵に他ならない。本当に夢を実現するのであれば、足を運んで汗をかくことである。（R1.7.30 子育て・やさしさ部会にかかる追加意見等）
2	鎌田委員	区政会議とは、いったい何なんだろうか。区で決まったことの報告会？それに対する意見を述べる場。区で決まった予算を動かすことはできない。この4年間を振り返り思う。もっと勉強をして会議に臨まなければならなかったのだろうか。私たち区民の声が反映されているか否かは別として、区役所の方々に区民が何を考え、何を望んでいるのか、少しでも頭にとどめて頂けたらと思う。机の上と現場とは違う。区民の立場で、目線で、物事を考えて欲しいと思う。平均的にパーセントが上だから目標を達しているから良いのではなく、少数意見も拾っていただけたら、もっと旭区が良くなるのではないのでしょうか。人類は皆兄弟！旭区民は皆知り合いを目標に、昭和の良き時代となり近所が協力しあい、コミュニティを大切に平成の時代のIT文化をうまく取り入れ、供用できたらと思っている。（R1.7.30 子育て・やさしさ部会にかかる追加意見等）